

# Clever Energy™

Internet of Things





## 課題

世界では、2050年までにカーボンニュートラル（企業活動において排出される二酸化炭素と、吸収される二酸化炭素が同量であること）を目指し、脱炭素・デジタルを用いたグリーン化の動きが加速しており、企業も対策を迫られています。国際エネルギー機関(IEA)によると、商業ビルと産業分野において供給エネルギーの使用量が増加しており、商業ビル・建設部門は世界のエネルギー消費量の約33%、産業部門は54%を占めています。しかしエネルギー消費パターンの予測は困難であり、企業活動の大規模化や複雑化により、カーボンフットプリント（二酸化炭素排出量）の把握も困難になっています。このような状況において、企業はIoT、EdgeおよびAI技術をベースとした分析によるエネルギーの効率化やカーボンニュートラルの目標達成が求められています。

## TCSのソリューション

TCS Clever Energy™は、企業レベルのエネルギーおよび排気の管理システムとして、ビジネス持続性の向上、エネルギーおよび費用効果の確保、二酸化炭素排出量の削減およびカーボンニュートラルの目標達成の実現をサポートします。企業におけるエネルギーに関連する多様な機能に対応し、さまざまなシステムや設備との統合も可能な包括的なプラットフォームです。

## 主な特長

### タイムリーな保守：

AI（人工知能）やML全角の（機械学習）のフレームワークを活用し、エネルギー需要、使用パターンや異常を監視

### 自己最適化：

手動で操作や設定の変更をせずに、状況に応じてシステムが自動的にカスタム分析を提供

### 拡張可能なアーキテクチャ：

8-10週間以内の迅速な初期導入や、さまざまな種類の設備への展開が可能

### 排気量の管理・レポーティング：

正確な排気量データを一元化、プラットフォーム上で一覧表示して可視化することでコンプライアンスと持続可能性をサポート

## TCS Clever Energy™ 導入のメリット



#### 連絡先:

より詳しい情報はこちらから。

ウェブサイト: <https://www.tcs.com/what-we-do/services/iot-digital-engineering/solution/tcs-clever-energy-management-system>

メール : [Japan.DigitalContinuity@tcs.com](mailto:Japan.DigitalContinuity@tcs.com)

#### タタコンサルタンシーサービシズ (TCS) について

タタコンサルタンシーサービシズ (TCS) は、世界中の大手企業における変革の道のりを56年以上にわたり支援している、ITサービス、コンサルティングおよびビジネスソリューション企業です。コンサルティングを基盤とし、コグニティブ技術を活用した、ビジネス、テクノロジー、エンジニアリングのサービスやソリューションを展開しています。これらをTCS独自のソフトウェア開発基準である「ロケーションインディペンデント・アジャイル・デリバリーモデル (Location Independent Agile™ delivery model)」を通じ、地理的な制約にとらわれることなく提供しています。

TCSは、世界最大規模の多国籍複合企業体であるタタ・グループの一員で、最高水準のトレーニングを受けた60万1,000人を超える人材を擁し、世界55カ国で事業を展開しています。2024年3月31日を末日とする会計年度の売上高は290億米ドルで、インドナショナル証券取引所とボンベイ証券取引所にも上場しています。また、気候変動に対する積極的な取り組みや表彰を受けた地域活動を世界中で展開しており、MSCIグローバル・サステナビリティ・インデックスやFTS4Eグッド・エマージング・インデックスをはじめ、主要なサステナビリティ指数の構成銘柄に名を連ねています。TCSの詳細は、[www.tcs.com](http://www.tcs.com)をご覧ください。

本誌に記載されている会社名、ロゴ、製品名およびサービス名などは、日本タタ・コンサルタンシー・サービシズ株式会社および各社の商標または登録商標です。本誌掲載内容の無断複写・転載は、媒体問わず禁じられています。掲載されている情報は本誌作成時の情報です。

Copyright © 2024 Tata Consultancy Services Limited